



新年あけましておめでとうございます。
 昨年中は格別のお引き立てを賜り心よりお礼申し上げます。
 本年も何卒よろしくお願い申し上げます。



平成29年度 第1回技術等審査委員会の審査結果

研究開発助成事業として1件を採択

平成29年10月1日～10月31日に応募があった助成事業について、平成29年11月29日に郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンターにおいて技術等審査委員会が開かれ、厳正な審査の結果、研究開発助成事業として1件が採択されました。

今月号では、採択されたテーマをご紹介します。

採択テーマ：**生しいたけの階級・等級の自動選別機製作のための研究開発**

事業実施者：**林精器製造株式会社 代表取締役社長 林 明博**

研究体制：JA 全農福島郡山営農事業所園芸センターの相談を受け、日本大学工学部の技術協力のもとに産学連携で上記テーマに取り組む。

事業内容：生しいたけの現状を把握し、形状認識と階級・等級の選別の可能性について実際に撮影を行い、画像処理ソフトを用いて判別ができるかどうかを確認する。

また、振動・振幅を変えて整列させることができるかどうかの確認を行う。

自動選別機の機構設計の構想案を作成する。

事業実施期間：平成29年12月1日～平成30年5月31日



第18回産・学・官連携フォーラム開催報告

平成29年11月28日、日本大学工学部50周年記念館大講堂を会場に、第18回産・学・官連携フォーラムを開催し、約200名の企業・団体等の方々が参加しました。

今回は「葛尾村発 ドローンを活用した産学官の連携による地域づくり」をメインテーマに開催しました。

はじめに日本大学工学部 岩城教授が葛尾村での取り組みを紹介したほか、小型無人機ドローンによる調査を手掛ける株式会社スカイシーカーや小型UAVに搭載可能なセンサーを研究する日本大学工学部 若林教授、「葛尾村における現況とドローンへの期待」と題し、葛尾村復興推進室 松本室長よりそれぞれご講演いただきました。

第2部は日本大学工学部 柿崎教授をコーディネーターにパネルディスカッションが行われ、参加者と意見交換しました。



多くの企業に参加いただきました



パネルディスカッションの様子

郡山地域ものづくり受発注商談会 報告

平成29年12月1日、郡山商工会議所会館において「郡山地域ものづくり企業商談会」を開催しました。

県内外から参加された13社の発注企業と、郡山地域企業を中心とした41社の受注企業による115件の予約商談が行われました。具体的案件や協力企業を求めた商談で、今後、多くの成果が期待されます。

また、フリースペースでも、待ち時間を利用した名刺交換や面談等が行われ、積極的な情報交換を行っていただきました。

商談会終了後のアンケートでは、「マッチングの精度が高く期待以上であった。」「効率よく商談ができ、良い企業と知り合うことができた」など、多くのご意見をいただきました。



当機構齋藤常務挨拶



企業商談の様子

第5回郡山オープンイノベーション(KOI)会議開催報告

ロボット産業分野の連携に向けて、意見交換

平成29年12月19日、郡山市、会津大学及び当機構の包括連携協定に基づく「郡山オープンイノベーション会議」を会津若松市の会津大学で開催し、関係企業ら約40人が参加しました。

参加者は学内の研究施設を見て回り、同大学が県内企業と共同開発した大型災害対応ロボット「援竜」の実演等を見学した。その後、同大学の岩瀬次郎理事が先端ICTラボを中心とした学内の産学官連携活動、屋代真教授が平成27年に始まったロボット技術開発支援事業の現状などを説明した。

参加者は同大学の取り組みに理解を深めながら、ロボット開発などに関するアイデアを出し合い、連携事業の具体化に向けたヒントを探っていました。

今後はロボット産業をテーマに複数回協議していく予定です。



岩瀬先生の講演



大型災害対応ロボット「援竜」の実演

当機構後援事業

ふくしまドローン空撮コンテスト開催中

福島県では、平成30年度に行われるロボットテストフィールドなど、世界に発信できるロボットの産業拠点となりつつあります。

ロボット産業の重要な一つのファクターであるドローンの啓もうと、福島県の魅力発信のための空撮コンテストを開催いたします。

福島暮らし、魅力、すばらしさを表現した動画・写真を募集します。

美しい景色や日常風景、伝統などPRできる作品をお待ちしております。

- 応募期限：平成30年1月31日（水）まで
- 参加費：無料
- 対象：福島県内の未発表の空撮映像
- 受賞品：SPARK、OSMOMOBILE、トイドローン、福島県内施設宿泊券、福島県特産品など
- 内容：ドローンに対しての理解と福島県の魅力発信のための空撮コンテスト
- 主催：株式会社 スペースワン（福島ドローンスクール）
- 後援：公益財団法人郡山地域テクノポリス推進機構ほか
- 詳細・お申し込み

下記URLよりお申し込みください

<https://contest.fukushima-drone.com/>

■お問い合わせ：
株式会社スペースワン
〒963-8833
福島県郡山市香久池1-17-3
COVA BLD 2F

TEL：024-954-9930
FAX：024-954-9935

E-mail: drone@spacexone.com



当機構の主なイベント

2月、3月に予定している事業について、お知らせします。詳しくはテクノポリスだより、メールマガジン、当機構ウェブサイト等で改めてご紹介いたします。

須賀川市企業間ネットワークセミナー2018

須賀川市内外の企業間ネットワークの拡大を推進し、地場産業の活性化を図るためセミナーを開催します。

■日時 2月7日（水）午後3時～

■場所 グランシア須賀川

郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議・特別講演会

■日時 3月6日（火）午後3時～

■場所 ホテルハマツ

■講師 豊橋技術科学大学人間・ロボット共生リサーチセンター
センター長 岡田 美智男 氏

■演題 <弱いロボット>的思考のすすめ

～なし崩しの機能追加主義からの脱却にむけて～

入居者募集のお知らせ

当機構では、ものづくりのための起業支援施設「インキュベーションセンター」を日本大学工学部キャンパス内に設置しています。

新たに事業を開始しようとする方や新たな製品の研究開発に取り組む企業などを対象に、低廉な料金で入居できる「起業支援室」の提供や、各種工作機器を備えた「試作センター」の優先利用、さらにはインキュベーションマネージャー等による技術面・経営面でのアドバイスなど、研究開発から事業化まで一貫した起業支援を行っております。

現在、下記の通り新規入居者を募集しております
記

■入居対象者：主として製造業等を営む中小企業

■入居期間：入居期間1年（更新審査を経て最長5年まで可）

■問い合わせ先：

郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター
〒963-1165 郡山市田村町徳定字中河原1-1

（日本大学工学部キャンパス内）

TEL：024-926-0344 FAX：024-943-4441

E-mail: monodukuri@nm.net6.or.jp

